

野党共闘 真剣な協議を

共産党・笠井衆院議員が強調

BS番組で

▶ 発言する笠井衆院議員 (BS朝日から)



日本共産党の笠井亮衆院議員（比例東京ブロック選出）・政策副委員長は2月13日、BS朝日「激論! クロスファイア」に出演し、参院選にむけた野党共闘の行方や、憲法改定を掲げる安倍政権とどう対峙（た いじ）するかをテーマに、ジャーナリストの田原総一朗氏、情報誌編集長の歳川隆雄氏らと討論しました。

「野党のなかで最も注目されているのが共産党」（田原総一郎氏）

田原氏は「野党のなかで最も注目されているのが共産党だ」と紹介。歳川氏も「（共産党の）存在意義は今の日本政治のなかで非常に高い」と語りました。

日本共産党が提案している「戦争法（安保法制）廃止の国民連合政府」構想が話題に上ると、田原氏は「アイデアがおもしろい」と述べ、参院選1人区での野党共闘の現状を尋ねました。

笠井氏は「安倍政権に正面对決する日本共産党が比例でも、選挙区でも躍進することをめざして全力をつくす」と表明。そのうえで、戦争法廃止と立憲主義回復を掲げ、当選後も無所属で活動する統一候補を擁立した熊本の例を挙げて、「こういう形を大いに広げたい」と強調しました。

「野党共同での戦争法廃止法案提出は良い事。だがそれがイコール選挙共闘ではない。選挙の共闘は真剣な協議・合意が必要」（笠井氏）

一方で、選挙協力を実現するために真剣な協議と、しっかりとした合意を呼びかけている党の立場を紹介し、「率直に言って、まだ民主党はその呼びかけに応じていない」と説明。5野党が戦争法廃止法案を共同提出することについては「廃止法案を一致して出せるというのは良いこと。だがそれがイコール選挙の共闘とはならない。選挙の共闘は真剣な協

議としっかりした合意をつくる必要がある」と強調しました。

安倍首相が憲法9条の明文改憲に突き進もうとしていることが話題になり、笠井氏は「憲法を敵視し、戦争する国づくりを進めるのは絶対に許されない」と表明。歳川氏は「共産党が議席を伸ばしてくれることを切に望んでいる」と語りました。

「野党は共闘」の声にこたえ 「戦争法廃止の政府」実現へ全力

「戦争法廃止の政府」の実現、「野党共闘」の実現の力は、なにより国民、都民のみなさんの世論と行動です。安倍政権を打倒し、立憲主義をとりもどすために、ぜひ力をあわせましょう。



参議院（東京選挙区）予定候補
弁護士・31歳
やまぞえたく

山 添 拓
日本共産党



ご意見・ご要望は 03-3370-0311、FAX 03-3370-0471
2016年2月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行/東京民報社（港区芝1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可